

## ふれあいバス・ふれあい予約バス 利用者アンケート

## ■あなた自身のことについておたずねします

問1 あなた自身のことについて、各項目で該当する番号に○をつけてください。

① 性別 (1つに○)	1. 男性	2. 女性	3. その他
② 年齢 (1つに○)	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60～64歳
	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上
③ お住まいの地域 (1つに○)	1. 上之郷地区	2. 御嵩地区	
	3. 中地区	4. 伏見地区	5. 御嵩町外
④ 日常生活を送る上での健康状態 (1つに○)	1. 大変良い	2. 良い	
	3. あまり良くない	4. 良くない	
⑤ 自家用車(送迎を含む)の利用頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日	2. 週に2～3回程度	
	3. 週に1回程度	4. 月に数回程度	
	5. ほとんど利用しない	6. 全く利用しない	
⑥ 自動車運転免許の有無と自家用車の運転 (1つに○)	1. 運転している		
	2. 運転免許を持っているが、運転していない		
	3. 運転免許を持っていたが返納したため、運転していない		
	4. 運転免許を持っていない		

## ■アンケートを受け取った当日のバス利用についておたずねします

アンケートを受け取った当日のふれあいバス・ふれあい予約バスの利用について、それぞれお答えください。※アンケートを複数受け取った方は、最初に受け取ったバスについてお答えください

問2-① アンケートを受け取った路線について、該当する番号1つに○をつけてください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. ふれあいバス みたけ・なか線 | 2. ふれあいバス 工業団地・南山台線 |
| 3. ふれあい予約バス ふしみ線  | 4. ふれあい予約バス かみのごう線  |

問2-② アンケートを受け取ったバスに乗車・降車したバス停と時間をご記入ください。

乗ったバス停 ( )バス停	午前・午後 ( )時頃乗車
降りたバス停 ( )バス停	午前・午後 ( )時頃降車



問2-⑨ 「行き」「帰り」で同じ公共交通を利用しなかった方(問2-⑧で1または2を選択)のみお答えください。

「行き」または「帰り」のみ利用する理由について該当する番号1つに○をつけてください。

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 本数が少ないから      | 2. 利用したい時間と合わないから |
| 3. 行きたい場所にいけないから | 4. 遠回りになるから       |
| 5. 乗り継ぎが不便だから    | 6. 他の交通手段の方が便利だから |
| 7. 車で送迎してもらえらるから | 8. その他 ( )        |

問2-⑩ 「行き」「帰り」で同じ公共交通を利用しなかった方(問2-⑧で1または2を選択)のみお答えください。

「行き」または「帰り」のみ利用する場合、代わりに利用した交通手段の該当する番号すべてに○をつけてください。

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 名鉄広見線             | 2. ふれあいバス (バス車両) |
| 3. ふれあい予約バス (タクシー車両) | 4. YAOバス         |
| 5. 可児市さつきバス          | 6. タクシー          |
| 7. 自家用車 (自分で運転)      | 8. 自家用車 (送迎)     |
| 9. 原付・バイク            | 10. 自転車          |
| 11. 徒歩               | 12. その他 ( )      |

**■バスの満足度と重要度についておたずねします。**

問3-① あなたが利用したバス路線について、あなたが感じている「現状の満足度」と「これからの重要度」の程度について、それぞれ1つに○をつけてください。「やや不満」または「不満」と回答された項目に対する改善のアイデアがあればご記入ください。

	現状の満足度				これからの重要度			
	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない
①総合的な満足度	4	3	2	1				
②運行本数	4	3	2	1	4	3	2	1
③ダイヤ (時刻表)	4	3	2	1	4	3	2	1
④運行時間帯	4	3	2	1	4	3	2	1
⑤運行経路	4	3	2	1	4	3	2	1
⑥運行経路のわかりやすさ	4	3	2	1	4	3	2	1

	現状の満足度				これからの重要度			
	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない
⑦運行方向	4	3	2	1	4	3	2	1
⑧目的地までの所要時間	4	3	2	1	4	3	2	1
⑨時刻表通りの発着	4	3	2	1	4	3	2	1
⑩自宅からバス停までの距離	4	3	2	1	4	3	2	1
⑪バス停から目的地までの距離	4	3	2	1	4	3	2	1
⑫バス停の案内の見やすさ	4	3	2	1	4	3	2	1
⑬手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	4	3	2	1	4	3	2	1
⑭車内の案内表示の見やすさ	4	3	2	1	4	3	2	1
⑮乗り降りのしやすさ	4	3	2	1	4	3	2	1
⑯乗り心地	4	3	2	1	4	3	2	1
⑰運転手の対応	4	3	2	1	4	3	2	1
⑱運賃	4	3	2	1	4	3	2	1
⑲乗り継ぎの待ち時間	4	3	2	1	4	3	2	1
⑳乗継情報のわかりやすさ	4	3	2	1	4	3	2	1
㉑乗継ぎの際の移動距離	4	3	2	1	4	3	2	1
㉒予約バスの予約方法	4	3	2	1	4	3	2	1
㉓予約バスの予約締切時間	4	3	2	1	4	3	2	1
改善アイデア								

問3-② 問3-①の現状の満足度で「1. 不満」または「2. やや不満」を1つでも選んだ方のみお答えください。  
不満が解消された場合、バスの利用はどうなりますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 今まで以上に利用する

2. 今までと同程度利用する

問3-③ 乗車したバスに期待する役割を教えてください。1位から3位までの順番に選択肢の番号を記入してください。

1位	2位	3位
① 通勤・通学するための交通手段 ② 通院・買い物するための交通手段 ③ 他の鉄道駅や広見線の駅へ行くための交通手段 ④ 町外の施設へ行くための交通手段（①～③の目的を除く） ⑤ 町外から来訪する方にとっての交通手段 ⑥ 観光をするときの交通手段 ⑦ 自動車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段 ⑧ 普段は公共交通を利用していないが、いつでも利用できる安心感を与える役割 ⑨ 存在自体が、まちの活性化や活力につながるという役割 ⑩ 御嵩町をアピールする資源となる役割		

### ■公共交通の情報を調べる手段についておたずねします

問4-① 鉄道やバス、タクシーの情報（経路、ダイヤ、乗り場など）を調べる手段について、最も使用頻度の高いもの1つに○をつけてください。

1. スマートフォン

2. スマートフォン以外の携帯電話（ガラケー）

3. タブレット

4. パソコン

5. 手持ちの路線図・時刻表

6. 駅やバス停に掲示された路線図・時刻表

7. その他（

）

問4-② 問4-①で選択した手段で調べる情報について、調べる頻度が高いものを3つまで○をつけてください。

1. 路線図

2. ダイヤ（時刻表）

3. 目的地までの運賃

4. 目的地までの所要時間


5. バス停の位置

6. 乗り継ぎ情報

7. 遅れ情報

8. 調べない

## ■公共交通の維持についておたずねします

 まずはこちらをお読みください。

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の収支は、年間約2億円を超える赤字で推移していますが、地域にとって必要な社会基盤であることから、御嵩町が年間7,000万円の支援を行っています。バスについては、ふれあいバスは約1,770万円、ふれあい予約バスは約1,270万円の支援を行っています（令和5年度）。また、利用者一人当たりの年間運行経費のうち、ふれあいバスが約1,300円、ふれあい予約バスは約1,320円を町が支出しています。この支出額は年々増加しており、今後も増加する可能性があります。このことを踏まえて次の問にご回答ください。

問5 「税金での負担」や「運賃」の関係について、あなたの考えに該当する番号1つに○をつけてください。

1. 利用者を増やすことで収入を増やし、町支出額を減らすべき
2. 便数を減らすなど、サービス水準を下げて運行経費を抑え、町支出額を減らすべき
3. 運賃を上げることで収入を増やし、町支出額を減らすべき
4. 住民が協力して運行経費の一部を負担し、町支出額を減らすべき
5. 高齢者などの交通弱者の移動手段確保のためなら、今と同程度の町支出額でよい
6. 公共交通をより便利にするために、町支出額を増やしてもよい
7. 利用者の運賃収入だけでまかなえないのであれば、運行するべきでない
8. これ以上の対応は必要ない

## ■公共交通に対する考えやアイデアについておたずねします

問6 公共交通を確保・維持するために自身や地域が協働・連携して取り組める内容について、該当する番号1つに○をつけてください。

1. 公共交通を積極的に利用する
2. 地域で公共交通を活用したイベントを実施する
3. 地域で協賛金（募金など）を募り、収入を増やす
4. 地域企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす
5. 地域で公共交通について話し合う場や組織を設置する
6. 地域が主体となり、地域特性やニーズに応じた新たな公共交通を運行する
7. その他（）

問7 こんなバスがあったら便利！こんなイベントを行えば公共交通の利用が増える！  
こんな所にバス停があれば、バスを利用する！  
など、公共交通の利便性を高めるアイデアについて記入をお願いします。

<自由意見欄> (記入例) 休日に、〇〇〇へ行けるバスがあれば利用したい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、●月●日（●）までにお近くのポストに投函してください。